

第●期データヘルス計画

計画策定の趣旨	背景		
	目的		
計画期間		令和●年度～令和●年度	
関連する他の計画 関連事項・ 関連目標	都道府県健康増進計画	令和●年～令和●年	
	都道府県医療費適正化計画	令和●年～令和●年	
	介護保険事業支援計画	令和●年～令和●年	
	国保データヘルス計画	令和●年～令和●年	
実施体制 関係者連携	市町村との連携体制		
	関係者等		

(1) 基本情報

人口・被保険者		対象者に関する基本情報				(20●●年●月●日時点)	
		全体	%	男性	%	女性	%
人口(人)							
被保険者数(人)							
	65～69歳(人)						
	70～74歳(人)						
	75～79歳(人)						
	80～84歳(人)						
	85～89歳(人)						
	90歳以上(人)						

関係者等	計画の実効性を高めるための関係者等との連携
	連携内容
構成市町村	
都道府県	
国保連及び支援・評価委員会	
外部有識者	
保健医療関係者	
その他	

(2) 現状の整理

被保険者等の特性	被保険者数の推移	
	年齢別被保険者構成割合	
	その他	
前期計画等に係る評価	前期(第●期)に設定したDH計画全体の目標(設定していない場合は各事業の目標)	① ② ③
	目標の達成状況	① ② ③

※計画様式(I～V)は、東京大学「データヘルス計画標準化ツール®」を改変して作成。

II 健康医療情報等の分析

※情報整理の際には、①全国平均との比較・②構成市町村比較・③経年変化の視点で整理することがポイント

項目		健康医療情報等の整理	アセスメント	データ出典	
被保険者構成の将来推計				図表○	
将来推計に伴う医療費見込み					
平均余命 平均自立期間（要介護2以上）等 死因別死亡割合					
健康診査 歯科健康診査 質問票の分析	健康診査・歯科健康診査の実施状況				
	健診・歯科健診の結果の状況 （健康状況）				
	質問票調査結果の状況 （生活習慣）				
	健康状態不明者の数				
医療関係の 分析	医療費				
	疾病分類別の医療費				
	後発医薬品の使用割合				
	重複投薬患者割合 多剤投薬患者割合				
介護関係の 分析	要介護認定率の状況				
	介護給付費				
	要介護認定有無別の有病率（疾病別） 要介護度別有病率（疾病別）				
	通いの場の展開状況 （箇所数・参加者数等）				
介護・医療のクロス分析					

広域連合がアプローチする課題

広域連合がアプローチする課題		優先する課題
A		
B		
C		
D		
E		
F		
G		

※課題抽出時と作成後にチェック

関連する他の計画を踏まえた 広域連合の取組	課題抽出時：① 関連する他の計画の関連事項や目標について確認	
	課題抽出時：② ①を踏まえ、後期のDH計画で取り組むことを確認	
	作成後：③ ②の取組について市町村や取組を実行していく上で連携が必要になる関係者等に共有したか確認	



後期データヘルス計画における取組の方向性

--

II 健康医療情報等の分析

項目		健康医療情報等の整理		アセスメント		データ出典		
被保険者構成の将来推計						図表〇		
将来推計に伴う医療費見込み								
平均余命 平均自立期間（要介護2以上） 等 死因別死亡割合	全国平均との比較							
	構成市町村比較							
	経年変化							
健康診査 歯科健康 診査 質問票の 分析	健康診査・歯科健康 診査の実施状況	全国平均との比較						
		構成市町村比較						
		経年変化						
	健診結果・歯科健診 結果の状況（健康状 況）	全国平均との比較						
		構成市町村比較						
		経年変化						
	質問票調査結果の状 況（生活習慣）	全国平均との比較						
		構成市町村比較						
		経年変化						
	健康状態不明者の数	全国平均との比較						
		構成市町村比較						
		経年変化						
医療関係 の分析	医療費	全国平均との比較						
		構成市町村比較						
		経年変化						
	疾病分類別の医療費	全国平均との比較						
		構成市町村比較						
		経年変化						
後発医薬品の使用割合								
重複投薬患者割合 多剤投薬患者割合								
介護関係 の分析	要介護認定率の状況	全国平均との比較						
		構成市町村比較						
		経年変化						
	介護給付費	全国平均との比較						
		構成市町村比較						
		経年変化						
	要介護度別有病率 （疾病別） 要介護認定有無別の 有病率（疾病別）	全国平均との比較						
		構成市町村比較						
		経年変化						
	通いの場の展開状況 （箇所数・参加者数 等）	全国平均との比較						
構成市町村比較								
経年変化								
介護・医療のクロス分析								

広域連合がアプローチする課題と対策		
	広域連合がアプローチする課題	優先する課題
A		
B		
C		
D		
E		

※課題抽出時と作成後にチェック

関連する他の計画を踏まえた 広域連合の取組	課題抽出時：① 関連する他の計画の関連事項や目標について確認	
	課題抽出時：② ①を踏まえ、後期のDH計画で取り組むことを確認	
	作成後：③ ②の取組について市町村や取組を実行していく上で連携が必要になる関係者等に共有したか確認	

後期データヘルス計画における取組の方向性

--

	広域連合がアプローチする課題	優先する課題	課題解決に係る取組の方向性	対応する保健事業番号
A				
B				
C				
D				
E				

必要に応じて課題を列挙

課題の解決に資する事業設計

目的・目標		抽出した課題に対して、この計画によって目指す姿（目的）と目標・評価項目																							
計画全体の目的（この計画によって目指す姿）																									
目標	評価項目（共通評価指標）	目標値※2																							
		計画策定時実績※1 2022 (R4)			2024 (R6)			2025 (R7)			2026 (R8)			2027 (R9)			2028 (R10)			2029 (R11)					
		割合	分子	分母	割合	分子	分母	割合	分子	分母	割合	分子	分母	割合	分子	分母	割合	分子	分母	割合	分子	分母			
	アウトプット	健診受診率	%			%			%			%			%			%			%				
		歯科健診実施市町村数・割合	%			%			%			%			%			%			%				
		質問票を活用したハイリスク者把握に基づく保健事業を実施している市町村数・割合	%			%			%			%			%			%			%				
一体的実施の推進 実施市町村数の増加	アウトプット	低栄養	%			%			%			%			%			%			%				
		口腔	%			%			%			%			%			%			%				
		服薬（重複・多剤）	%			%			%			%			%			%			%				
		重症化予防（糖尿病性腎症）	%			%			%			%			%			%			%				
		重症化予防（その他身体的フレイルを含む）	%			%			%			%			%			%			%				
		健康状態不明者	%			%			%			%			%			%			%				
																							
一体的実施の推進 ハイリスク者割合の減少	アウトカム	低栄養	%			%			%			%			%			%			%				
		口腔	%			%			%			%			%			%			%				
		服薬（多剤）	%			%			%			%			%			%			%				
		服薬（睡眠薬）	%			%			%			%			%			%			%				
		身体的フレイル（ロコモ含む）	%			%			%			%			%			%			%				
		重症化予防（コントロール不良者）	%			%			%			%			%			%			%				
		重症化予防（糖尿病等治療中断者）	%			%			%			%			%			%			%				
		重症化予防（基礎疾患保有＋フレイル）	%			%			%			%			%			%			%				
		重症化予防（腎機能不良未受診者）	%			%			%			%			%			%			%				
		健康状態不明者	%			%			%			%			%			%			%				
平均自立期間（要介護2以上）																									
...	...																								
...	...																								

※1 実績年度が異なる場合には、欄外等に注釈を記載。 ※2 目標値を記載する際には、分母・分子は記載不要。

個別事業及び計画期間における進捗管理

事業番号	事業分類	事業名	直営委託混合	重点・優先	実施年度（市町村数）					
					2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										

事業● ●●事業

事業の目的	
-------	--

事業の概要	
-------	--

項目	No.	評価指標	評価対象・方法	計画策定時 実績	目標値					
					2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)
アウトカム 評価指標	1			%	%	%	%	%	%	%
	2									
	3									
	4									
	5									

項目	No.	評価指標	評価対象・方法	計画策定時 実績	目標値					
					2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)
アウトプット 評価指標	1									
	2									
	3									
	4									
	5									

プロセス (方法)	概要	
	実施内容	
	実施後のフォロー・モニタリング	
	備考	

ストラクチャー (体制)	概要	
	実施内容	
	実施後のフォロー・モニタリング	
	備考	

V その他

データヘルス計画 の評価・見直し	
データヘルス計画 の公表・周知	
個人情報の取扱い	
地域包括ケアに係 る取組	
その他留意事項	

II 健康医療情報等の分析 ※記載例

項目		健康医療情報等の整理	アセスメント	データ出典
被保険者構成の将来推計				図表〇
将来推計に伴う医療費見込み				
平均余命 平均自立期間（要介護2以上）等 死因別死亡割合	全国平均との比較	全国と比較し ○平均余命は男性で●が高く、女性で○が高い。 ○平均自立期間は男性で●が高く、女性で○が高い。 ○平均余命と平均自立期間の差は、男女とも小さい（●が程度） ○主な死因として、がんが●が程度高く、心臓病（●が）・脳疾患（●が）・糖尿病（●が）・腎不全（●が）は低い。	平均自立期間が高い市町村ほど、平均余命と平均自立期間の差が小さい傾向にある。 ・健診有見割合と平均自立期間には明確な関係性は見られないが、HbA1c及び拡張期血圧の有見割合が低い市町村ほど平均自立期間と平均寿命の差が小さい傾向にある。 （※注：健診結果の状況（健康状況）の整理より） →生活習慣病（特に糖尿病、高血圧症）の重症化を放置することで、平均自立期間の延伸及び平均寿命と平均自立期間の差の改善に影響を及ぼす可能性がある。	KDB 「地域の全体像の把握」画面> 平均自立期間、死因別死亡割合 健康スコアリング（保険者等一覧）
	構成市町村比較	○平均自立期間（県平均：男性●歳、女性●歳） ・最も高い市町村は男性●歳、女性●歳 ・最も低い市町村は男性●歳、女性●歳 ○平均余命（県平均：男性●歳、女性●歳） ・最も高い市町村は男性●歳、女性●歳 ・最も低い市町村は男性●歳、女性●歳 ○平均自立期間と平均余命の差（県平均：男性●歳、女性●歳） ・最も小さい市町村は男性●歳、女性●歳 ・最も大きい市町村は男性●歳、女性●歳		
	経年変化	○平均自立期間は過去3年間で男性●歳、女性●歳上昇 ○平均寿命は過去3年間で男性●歳、女性●歳		
健康診査 歯科健康 診査の実施状況	全国平均との比較	○健診の実施率（受診率）は全国と比較して、●が高い（広域：●%、国●%）※令和5年●月現在抽出時。 令和2年、3年は国と比べ●が程度高い	健診受診率は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和2年度大きく低下したが、回復傾向。 ・受診率の市町村別に見ると、上位10位と下位10位が固定化している。 ・令和元年度に比べ令和3年度受診率が向上している市町村について、未受診者への個別訪問をしている割合がそれ以外の3.5倍。 ・前期高齢者の特定健診受診率が高い市町村ほど、後期高齢者健診の受診率が高い傾向にある。 ・受診率については、二次医療圏等での特徴は見られない。 →前期高齢者の段階での受診率が後期高齢者となっても影響することが考えられるため、国保と連携した受診率向上に係る取組の推進が重要。 対象者を選別した上で、未受診者への個別通知は一定の効果も期待されており、特に受診率の低い市町村で積極的に実施していくことを推進することが重要。 ・歯科健診においては、未実施の市町村が+割を占めるため、まずは、全市町村での実施に向けて調整を進める必要がある。	KDB 地域の全体像の把握健康スコアリング （健診） 広域連合データ（歯科）
	構成市町村比較	○最も高い市町村●%と最も低い市町村●%では、●がの差がある。 ○上位10位は●~●%、下位10位は●~●%。 ○下位10位以外は受診率●%以上。 ○上位10位市町村における前期高齢者の特定健診受診率は●~●%、下位10位は●~●% ○歯科健診の実施率市町村が●市町村ある。		
	経年変化	○（健診）令和元年度●%、令和2年●%、令和3年度●%。 ○75歳～84歳の受診率について、令和2年から令和3年度にかけて低下。 ○（歯科）令和元年度●%、令和2年●%、令和3年度●%。 ○歯科健診の受診率は横ばい傾向。		
健康診査 歯科健康 診査の結果の分析	健診結果・歯科健診結果の状況（健康状況）	全国平均との比較 構成市町村比較 経年変化		
	質問票調査結果の状況（生活習慣）	全国平均との比較 構成市町村比較 経年変化		
	健康状態不明者の数	全国平均との比較 構成市町村比較 経年変化		
医療関係 の分析	医療費	全国平均との比較 構成市町村比較 経年変化		
	疾病分類別の医療費	全国平均との比較 構成市町村比較 経年変化		
	後発医薬品の使用割合			
	重複投薬患者割合 多剤投薬患者割合			
介護関係 の分析	要介護認定率の状況	全国平均との比較 構成市町村比較 経年変化		
	介護給付費	全国平均との比較 構成市町村比較 経年変化		
	要介護認定有無別の有病率（疾病別）	全国平均との比較 構成市町村比較 経年変化		
	通いの場の展開状況（園所数・参加者数等）	全国平均との比較 構成市町村比較 経年変化		
介護・医療のクロス分析				

一部、記載例を提示

一部、記載例を提示

広域連合がアプローチする課題と対策

広域連合がアプローチする課題	優先する課題
A ・平均自立期間が短い市町村の改善 ・健康状態を客観的指標により把握している被保険者の増加	
B ・県内における健診受診率が低い市町村の改善 ・歯科健診未実施市町村における、実施スキームの確立	
D	
E	

※課題抽出時と作成後にチェック

関連する他の計画を踏まえた 広域連合の取組	課題抽出時：① 関連する他の計画の関連事項や目標について確認	✓
	課題抽出時：② ①を踏まえ、後期のDH計画で取り進むことを確認	✓
	作成後：③ ②の取組について市町村や取組を実施していく上で連携が必要になる関係者等に共有したか確認	✓



後期データヘルス計画における取組の方向性

○健康増進計画において、●●が関連目標として掲げられており、後期データヘルス計画においても●●の達成に近づけよう、●●の取組を推進していく。
○医療費適正化計画において、●●が関連目標として掲げられており、後期データヘルス計画においても●●の達成に近づけよう、●●の取組を強化していく。

	広域連合がアプローチする課題	優先する課題	課題解決に係る取組の方向性	対応する保健事業番号
A	・平均自立期間が短い市町村の改善 ・健康状態を客観的指標により把握している被保険者の増加		・構成市町村ごとの平均自立期間のモニタリングと結果の共有 ・一体的実施の進捗管理と実施継続に向けた支援	1～8
B	・県内における健診受診率が低い市町村の改善 ・歯科健診未実施市町村における、実施スキームの確立		・後期高齢者健診の受診動員の強化 ・歯科健診未実施市町村における健診実施に向けた検討の推進	1・2
C				
D				
E				

必要に応じて課題を列挙

課題の解決に資する事業設計

目的・目標		抽出した課題に対して、この計画によって目指す姿(目的)と目標・評価項目																						
計画全体の目的 (この計画によって目指す姿)		在宅で自立した生活が送れる高齢者の増加																						
目標	評価項目(共通評価指標)	計画策定時実績※		目標値																				
		2022(R4)		2024(R6)			2025(R7)			2026(R8)			2027(R9)			2028(R10)			2029(R11)					
		割合	分子	割合	分子	分母	割合	分子	分母	割合	分子	分母												
健診受診率の向上 健康状態不明者の減少	アウトプット	健診受診率	%		%		%		%		%		%		%		%		%		%			
		歯科健診実施市町村数・割合	%		%		%		%		%		%		%		%		%		%			
生活習慣の改善 重症化の予防 フレイルの予防		質問票を活用したハイリスク者把握に基づく保健事業を実施している市町村数・割合	%		%		%		%		%		%		%		%		%		%			
一体的実施の推進 実施市町村数の増加	アウトプット	低栄養	%		%		%		%		%		%		%		%		%		%			
		口腔	%		%		%		%		%		%		%		%		%		%			
		服薬(重複・多剤)	%		%		%		%		%		%		%		%		%		%			
		重症化予防(糖尿病性腎症)	%		%		%		%		%		%		%		%		%		%			
		重症化予防(その他身体的フレイルを含む)	%		%		%		%		%		%		%		%		%		%			
		健康状態不明者	%		%		%		%		%		%		%		%		%		%			
		平均自立期間(要介護2以上)																						
...		...																						

※ 実績年度が異なる場合には、欄外等に注釈を記載。 ※2目標値を記載する際には、分母・分子は記載不要。

個別事業及び計画期間における進捗管理

事業番号	事業分類	事業名	直営委託混合	重点・優先	実施年度(市町村数)					
					2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)
1	健康診査	健康診査事業	複合		実施(30)	→	見直し			
2	歯科健診	歯科健診事業	複合		実施(20)	→	見直し			
3	一体的実施	低栄養	委託	✓	実施(20)	→	見直し			
4		口腔	委託		実施(10)	→	見直し			
5		服薬(重複・多剤等)	委託		実施(5)	→	見直し			
6		重症化予防(糖尿病性腎症)	委託	✓	実施(20)	→	見直し			
7		重症化予防(その他、身体的フレイルを含む)	委託		実施(15)	→	見直し			
8		健康状態不明者	委託	✓	実施(15)	→	見直し			